

「The Magic of Children」

(国際ロータリー第2690地区)



倉吉東ロータリークラブ週報

KURAYOSHI-EAST ROTARY CLUB WEEKLY

会長 藤井武親
副会長 酒井義人
幹事 向井康英

例会場 倉吉シティホテル2F TEL:0858-26-6111

<http://www.east-rotary.jp>

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail: kurayoshi@east-rotary.jp

事務所 〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル3F

TEL: 0858-24-6300 FAX: 0858-24-6301

令和6年7月25日 (木) 第2606回 例会報告 No.2471

榊原敬ガバナー公式訪問 倉吉東 RC・倉吉中央 RC 合同例会 (18:30~)

点 鐘
開 会

ソング 国歌・奉仕の理想

ガバナー並びに随行者紹介

バナーの披露

会 食 100万ドルの食事

会長時間

1901年、最初のノーベル賞を手にした人物がドイツ出身の科学者、レントゲンであります。彼が発見した未知という名のX(エックス)線は「新しい光」とも呼ばれました。さまざまな見えないものを映し出します。20世紀の物理学や医学が発展していく「科学の扉」になりました。

画像やデータなどに、あらゆる手をつくし対象を客観化しないと科学は前に進めません。

未知のウイルスが出現し、瞬間に世界に広がり人々の命を奪っていきました。そのまん延に社会はおののき、大きく混乱します。3年あまりに及ぶ新型コロナのパンデミック(世界的大流行)は小さな病原体、そして死への恐怖という「見えないもの」との闘いでした。

「3密」や「クラスター」、「新しい生活様式」といった、はやり言葉をいくつも生み出した日本のコロナ対策でした。果たして科学の力をうまく引き出したといえるでしょうか。

人的被害を低く抑えることができたのは、手洗い、マスクといった国民の習慣のおかげで、政策がよかったわけではありません。

感染症という有事に対する政府の危機意識は低かったように思います。義務なき行動制限を国民一人ひとりが実直に守ったことがよかったといえます。たまたま運がよかったということなのかもしれない。

振り返れば、20年春の「第1波」のころはPCR検査が普及せず感染状況が正しくつかめませんでした。決め手となる国産ワクチンもいまだに実現していません。鳴り物入りででてきた「接触確認アプリ」はいつのまにかどこかへいってしまいました。

英社の調査によると、19-21年の論文数などからみたコロナを含む感染症研究の実力をはかった世界ランキングで日本は12位、G7参加国で最下位でした。臨床医学の分野でもどんどん先進国から落ちていっています。

コロナを見えなくした「5類」への移行から1カ月あまり、科学は検証があってこそ進化します。今やるべきは、3年間の対策をいろいろな視点から徹底的に確かめ、日本の強みと弱みを見つけることです。政府も国会も専門家も、国民に「見えるもの」を残してもらいたい。

幹事報告

地区大会のチラシをすでにお配りしていますが、10月6日(日)に岡山ドームにて開催されます。多数の会員の登録と参加をお願いします。締め切りは8月8日までです。

スマイル報告

榊原敬ガバナー様より、本日の公式訪問に寄せて、ということで頂戴いたしました。

ガバナー卓話

地区大会のPR

謝 辞

点 鐘

閉 会

倉吉東RC 幹事 向井康英

倉吉東RC 副SAA 中野雅斗

第2690地区ガバナー 榊原敬様

ガバナー随行者 福川修介様

倉吉中央RC 会長 穂近亮士

倉吉中央RC 会長 穂近亮士



バナーの披露



藤井武親倉吉東RC会長



榊原敬ガバナー様




福川修介随行者様



穂近亮士倉吉中央RC会長



Rotary 
四つのテスト
言行はこれに照らしてから

- 一 真実かどうか
- 二 みんなに公平か
- 三 好意と友情を深めるか
- 四 みんなのためになるかどうか


ロータリーのマジック

2024-25年度国際ロータリーのテーマ
RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック
The Magic of Rotary